

# ○名取市第六次長期総合計画 地方創生総合戦略版の進捗状況について

## 【基本目標①】

稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする

### (1) 基本目標に対する数値目標

		R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	目標値	達成状況	担当課
① 就業人口	(現状値:H29年度) (目標値:R6年度) <b>36,510人 → 37,670人</b> (国勢調査)	36,275 (人)	—	—	37,670 (人)	—	総務課
		(進捗率) -20.3%	(進捗率) —	(進捗率) —			
② 新規の起案件数【累計】	(現状値:H29年度) (目標値:R6年度) <b>1件 → 8件</b>	7 (2) (件)	8 (1) (件)	11 (3) (件)	8 (件)	◎	商工観光課
		(進捗率) 85.7%	(進捗率) 100.0%	(進捗率) 143%			
③ 企業立地件数【累計】 (名取市企業立地促進条例に基づく指定企業許可件数)	(現状値:H29年度) (目標値:R6年度) <b>33件 → 41件</b>	37 (2) (件)	40 (3) (件)	42 (2) (件)	41 (件)	◎	商工観光課
		(進捗率) 50.0%	(進捗率) 87.5%	(進捗率) 113%			

<各項目の実績値の表記について>

R4の欄に当該年度終了時点での実績値を記載。

※指標名が【累計】の場合...2段書きで記載

上段 : 当該年度までの延べ実績値(目標値が延べ実績値)

下段()書き: 当該年度(単年度)の実績値

【R4末時点の指標達成状況】◎・・・目標値達成 ○・・・現状値以上 ▲・・・現状値未満

### (2) 施策の基本的方向

- (ア) 安定的で収益性の高い農業経営を実現するため、6次産業化及び集落営農・法人化の支援や新規就農者の育成・確保に取り組みます。
- (イ) 漁業と水産加工業を含む地域水産業の一体的な振興に向け、特産品の開発支援やブランド化、水産物の付加価値向上に取り組みます。
- (ウ) 産学金連携や異分野・業種間の企業連携を促進し、新たな商品・技術・サービス等の創出を支援するとともに、販路拡大や経営力の強化と人材育成に向けた支援の充実を図ります。
- (エ) 本市の地理的特性や産業基盤等の強みを生かすとともに、新たな産業基盤を整備し、立地企業に対する優遇施策の充実など立地優位性を確立し、企業誘致を推進します。
- (オ) オフィスの確保や資金面での支援、経営指導や情報提供等、本市での起業を支援します。
- (カ) 労働力の確保に向けて、高齢者や女性等の活躍の場の創出や外国人労働者の活用促進、人材育成等に取り組みます。

### (3) 具体的な施策・施策ごとの進捗状況

NO.	施策名	具体的な施策	数値目標 項目	重要業績評価指標(KPI) 現状値:H29年度/目標値:令和6年度	進捗状況 (KPIに対する実績値)			達成状況	新型コロナの 影響の有無	令和4年度の取組内容及び今後の取組方針について	(新型コロナウイルスの影響がある場合) 指標とは異なる別の取組状況等	担当課
					令和2年度	令和3年度	令和4年度					
1	3-1-1 生産性・付加価値の高い農業 の確立	○付加価値が高く競争力のある農業経営を実現 するため、農業の6次産業化を促進します。	①	6次産業化事業者数(人)【累計】 (現状値) 2人 → (目標値) 3人	2 (0) 人	2 (0) 人	2 (0) 人	○	有	新型コロナウイルスの影響により、6次化を促進 するうえで情報収集の場となる研修や視察等の 機会がなかったが、今後は、県等から発信される 情報を注視しながら取り組みを行う。	研修等を実施する主体は県等のため、別の取組 み等は行っていないが、窓口等で6次化の問い合わせ があった際は県や農業公社の取組みを案内した。	農林水産課
2	3-1-3 安定的な農業経営の推進	○地域の実情に合わせた集落営農組織や法人 化を促進し、強固な農業経営体と次代につなぐ 生産体制の構築に向けた取り組みを支援しま す。	①	農業法人(法人数)【累計】 (現状値) 10法人 → (目標値) 11法人	12 (2) 法人	17 (5) 法人	20 (3) 法人	◎	無	経営の効率化を図るため、複数の認定農業者か らなる組織化した法人や一戸一人(家族経営か らの法人化)、新規に農業へ参入する法人が今後 も増加傾向にあるので、継続した支援に取り組 む。		農林水産課
3	3-1-3 安定的な農業経営の推進	○農業次世代人材投資事業等を活用し、自立 を目指す農業後継者や新規に農業経営を目指 す方の支援に取り組みます。	①	新たに認定された認定新規就農者数(人)【累計】 (現状値) 7人 → (目標値) 14人	13 (2) 人	15 (2) 人	19 (4) 人	◎	無	令和4年度中における新規事業活用者は、4人で あり、今後、事業活用期間終了者への継続した支 援を図り、認定農業者への取り組みを強化する。		農林水産課
4	3-3-4 水産物の高付加価値化	○日本随一の食味を誇る赤貝の廉価流通の抑 制や出荷品質基準を検討し、ブランド力の更なる 向上を図ります。	①	関上漁港水揚高(t) (現状値) 182t → (目標値) 220t	201 t	129 t	206 t	○	無	令和4年は水揚高206トンの内しらすの水揚高が 過去最高となる140トンあったが、赤貝は貝毒の 長期化により令和3年の約半分の21.5トンに減少 した。赤貝については、重量分別機導入による出 荷等級規格の統一化等、品質維持に努めてき た。今後も引き続きブランド化の向上に取り組む。		農林水産課
5	3-3-4 水産物の高付加価値化	○新規魚種の漁獲支援を行うとともに、水産加 工団地への供給体制を整備することで、販路拡 大を図ります。	①	水産加工物の新商品開発件数(件)【累計】 (現状値) 17件 → (目標値) 40件	55 (14) 件	68 (13) 件	73 (5) 件	◎	無	今後も引き続き水産問題対策協議会を中心に研 修会や商品開発の取り組みを行う。		農林水産課
6	3-4-1 地域に密着した特色ある商業 の振興	○地域活性化のため地場産品の販売などに取 り組む事業者への支援を行います。	①	取組事業者数(人) (現状値) 16人 → (目標値) 18人	42 人	19 人	31 人	◎	無	コロナ禍により実施できなかったイベントが、再開 されるようになった。アフターコロナに向け、引き 続き様々なイベントにおいて事業者支援を行う。		商工観光課
7	3-4-2 経営力の強化と人材育成	○商業団体が取り組む地域の活性化や賑わい づくりに向けた活動を支援します。	①・②	商店街イベント開催件数(件) (現状値) 5件 → (目標値) 8件	0 件	1 件	1 件	▲	有	令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響が 残り、商店街イベントの一部が中止となった。今後 も名取市商工会と連携し開催に向けて取り組む。	商店街イベントとして増田地区オータムフェスティ バルを実施した。	商工観光課

NO.	施策名	具体的な施策	数値目標項目	重要業績評価指標 (KPI) 現状値: H29年度 / 目標値: 令和6年度	進捗状況 (KPIに対する実績値)			達成状況	新型コロナの影響の有無	令和4年度の実績内容及び今後の取組方針について	(新型コロナウイルスの影響がある場合) 指標とは異なる別の取組み状況等	担当課
					令和2年度	令和3年度	令和4年度					
8	3-4-3 産学金連携等による支援	○新たに海外輸出に向けた挑戦を行う事業者の取り組みを支援することで、海外市場における販路開拓を支援します。	①	海外輸出に取り組む新規事業者数(人)【累計】 <b>(現状値) -人 → (目標値) 3人</b>	0 (0) 人	0 (0) 人	2 (2) 人	○	有	令和4年度は新型コロナウイルス感染症やウクライナ情勢、円安などの影響で経済活動が停滞し、JETRO支援による海外輸出を目指す事業者は2件。今後も名取市商工会と連携し事業者の掘り起こしと情報の周知に取り組む。	国内の取り組みだけでは限界があり、代替事業は困難だった。	商工観光課
9	3-4-3 産学金連携等による支援	○産学金の連携等による各種共同研究や本市の特色を生かした特産品の開発を支援します。	①	産学官連携による新商品の開発件数(件)【累計】 <b>(現状値) 7件 → (目標値) 14件</b>	8 (1) 件	8 (0) 件	8 (0) 件	○	無	商品開発の実績はなし。今後も、制度活用に繋げるべく教育機関及び企業への呼びかけや産学のマッチングも検討する。		商工観光課
10	3-6-1 工業・流通業務系の企業誘致拠点・産業基盤の整備	○中小企業のニーズに対応するため、区画の整備等新たな工業基盤を整備します。	①・③	新規工業用地整備面積(ha)【累計】 <b>(現状値) -ha → (目標値) 5.5ha</b>	0 (0) ha	2 (2) ha	2.7 (0.7) ha	○	無	飯野坂東部地区については令和3年4月に組合設立、同年10月に工事着工。		都市開発課
11	3-6-2 既存集積業種の集積化促進と技術力の高い中小企業の誘致	○既存集積業種の高度電子機械産業と食品製造業、業務系の情報通信関連産業の誘致を促進します。	①・③	対象企業の立地件数(件)【累計】 <b>(現状値) 20件 → (目標値) 25件</b>	26 (2) 件	26 (0) 件	29 (3) 件	◎	無	令和4年度は、対象企業3社の進出があった。関上東産業用地と併せて、令和4年度から分譲を開始した愛島西部工業団地(第2期)について、今後も市内の産業振興及び雇用の創出に資する業種の企業誘致を進める。		商工観光課
12	3-6-3 立地優位性の確保と優遇施策の充実	○関上東地区産業用地への企業誘致を推進します。	①・③	産業用地(水産加工団地含む)の誘致面積(ha)【累計】 <b>(現状値) 3.5ha → (目標値) 19.8ha</b>	10.7 (2.5) ha	15.0 (4.3) ha	16.3 (1.3) ha	○	有	新型コロナウイルスやウクライナ情勢による物価・資器材価格高騰の影響があり、進出辞退や進出時期延期の申し出を行う企業がある中であったが、これまで11回の期間を定めた公募や随時公募を実施し、計41社が関上東地区に進出決定となった。令和5年度も引き続き当該地区の誘致を進める。	企業からの申し出により契約時期を延期するなど柔軟な対応を行った。	商工観光課
13	3-6-4 起業支援の充実と起業人材の育成	○市内の空き店舗を活用したチャレンジショップ事業を行うなど、創業・起業支援に取り組めます。	①	チャレンジショップ事業利用件数(件)【累計】 <b>(現状値) 1件 → (目標値) 14件</b>	12 (4) 件	14 (2) 件	18 (4) 件	◎	無	令和4年度は空き店舗活用支援事業で1件・チャレンジショップ事業で3件の計4件実績があった。今後も名取市商工会と連携し起業支援に取り組む。		商工観光課
14	3-6-4 起業支援の充実と起業人材の育成	○学生の起業支援に向けた環境整備を検討します。	①	インキュベーション施設数(件) <b>(現状値) -件 → (目標値) 1件</b>	0 件	0 件	0 件	○	無	令和4年度は空き家バンクや空き家の有効活用支援事業を創設し起業支援の環境整備に取り組んできた。令和5年度も引き続き、創設した制度を周知しながら、インキュベーション施設の整備に向け調査・研究に取り組む。		なとりの魅力創生課
15	3-7-1 働きやすい雇用環境の整備	○市民が地域で安定して就業できるよう、関係機関と連携し、勤労者福祉の充実や能力開発研修など支援に取り組めます。 ○ハローワークとの連携による「出張ハローワーク」を開催し、求職者に対する企業説明会や個別相談会を実施することで、市内企業への就業促進、非正規雇用対策に取り組めます。	①	出張ハローワーク参加者数(人) <b>(現状値) 293人 → (目標値) 350人</b>	34 人	15 人	216 人	▲	有	令和3年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、参加者を事前申し込み制としたため、コロナ禍前と比べて大幅な減となった。今後もハローワーク仙台と連携し実施体制を検討する。	新型コロナウイルス感染症の影響に配慮し、予約制の取り組みとした。	商工観光課
16	3-7-3 労働力の確保	○外国人労働者が働きやすい環境の整備や高齢者、女性等の活躍の場の創出等により、労働力の確保に努めます。	①	マインターンシップ事業参加者の就業者数(人) <b>(現状値) 3人 → (目標値) 12人</b>	4 人	3 人	2 人	▲	有	令和4年度は対象を拡大し、育児や介護で休職中の方の復職支援プログラムを含めて実施した。受講者8名、就職者は2名(うち1名は2020年度参加者)だった。講座終了後も3名は来春に向けて、または希望職種に向けて準備中である。	コロナ禍により、対面受講枠とあわせてオンライン受講枠を設定して実施した。	市民協働課
17	3-7-3 労働力の確保	○市内の教育機関が行う地元企業へのインターンシップについて、企業の負担の軽減策を検討しつつ、支援することで、学生の市内企業への就業を促進します。	①	企業説明会の参加者数(人) <b>(現状値) -人 → (目標値) 100人</b>	240 人	0 人	220 人	◎	無	令和4年度は宮農高1年生を対象に企業説明会を実施した。引き続きハローワーク仙台や関係機関と連携し実施に向けて進めていく。		商工観光課

【基本目標②】

名取市とのつながりを築き、新しいひとの流れをつくる

(1) 基本目標に対する数値目標

	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	目標値	達成状況	担当課
① 令和2年から令和6年までの5年間で、累計2,870人の社会増を目指します。【累計】	324 (人) (進捗率) 11.3%	692 (368) (人) (進捗率) 12.8%	1056 (364) (人) (進捗率) 36.8%	2,870 (人)	○	市民課
② 観光客入込数	(現状値: H29年度) 1,165,700 (人) (進捗率) 68.3%	(目標値: R6年度) 1,278,999 (人) (進捗率) 91.6%	1,456,324 (人) (進捗率) 128.0%	1,320,000 (人)	◎	商工観光課

<各項目の実績値の表記について>  
**R4の欄に当該年度終了時点での実績値を記載。**  
 ※指標名が【累計】の場合...2段書きで記載  
 上段 : 当該年度までの延べ実績値(目標値が延べ実績値)  
 下段()書き: 当該年度(単年度)の実績値

【R4末時点の指標達成状況】◎・・・目標値達成 ○・・・現状値以上 ▲・・・現状値未満

(2) 施策の基本的方向

- (ア) 地域特性を生かした観光資源の活用・造成により、国内外からの観光誘客に取り組みます。
- (イ) 移住・定住を促進するため、土地の高度利用や空き地の活用、住宅団地の活性化を図り、魅力と利便性を備えた居住空間の創出を図ります。
- (ウ) なとりブランドの育成やなとり百選の後継となる取り組みなど、本市の魅力が伝わり、広がる好循環を生む仕掛けづくりを推進します。
- (エ) 交流人口・関係人口の拡大を図り、本市に住み続けたい、市に愛着と誇りを持つ市民を増やし出す。

(3) 具体的な施策・施策ごとの進捗状況

NO.	施策名	具体的な施策	数値目標 項目	重要業績評価指標(KPI) 現状値: H29年度 / 目標値: 令和6年度	進捗状況 (KPIに対する実績値)			達成状況	新型コロナの 影響の有無	令和4年度の取組内容及び今後の取組方針について	(新型コロナウイルスの影響がある場合) 指標とは異なる別の取組み状況等	担当課
					令和2年度	令和3年度	令和4年度					
18	3-5-1 地域特性を生かした観光の仕掛けづくり	○市内観光拠点の周遊を促す取り組みを行います。	②	着地型ツアーの開催(件/年) (現状値) -件/年 → (目標値) 5件/年	6 件/年 (進捗率) 120.0%	7 件/年 (進捗率) 140.0%	7 件/年 (進捗率) 140.0%	◎	無	名取・仙台域内周遊キャンペーン事業として「なとりの魅力再発見ツアー」の企画等に取り組んだ。令和5年度も引き続き、同事業に取り組むほか、観光物産協会が実施するツアーに参画する。		商工観光課
19	3-5-1 地域特性を生かした観光の仕掛けづくり	○かわまちてらす閑上など名取川エリアの新たな観光資源の醸成に努めます。	②	かわまちてらす閑上・ゆりあげ港朝市来客者数(人) (現状値)386,500人 → (目標値)760,000人	777,551 人 (進捗率) 104.7%	752,619 人 (進捗率) 98.0%	786,537 人 (進捗率) 107.1%	◎	有	新型コロナウイルス感染症第6波が収束し、移動制限がない大型連休を迎えることが出来たことなどから、昨年度を上回る来客者数となった。今後も両地点の連携に向けた施策を推進する。(かわまちてらす閑上466,537人 ゆりあげ港朝市320,000人)	HPや各種SNS等で来客者数増加を目的とした魅力発信を行った。	商工観光課
20	3-5-2 観光資源の活用・造成	○閑上地区と仙台空港を結ぶ舟運事業を促進します。	②	貞山運河舟運事業の利用者数(人) (現状値) -人 → (目標値) 1,500人	906 人 (進捗率) 60.4%	1,712 人 (進捗率) 114.1%	2,180 人 (進捗率) 145.3%	◎	無	令和4年5月より、かわまちてらす閑上発着のゆりあげ周遊船「ゆりあげ丸」の運航を開始した。今後もHPや各種SNS等での魅力発信や語り部団体との協働により、利用者数の増加を図る。		商工観光課
21	3-5-2 観光資源の活用・造成	○サイクルスポーツセンターや名取トレイルセンターを拠点に自転車やトレッキング、カヌー等による、人力で楽しむ観光を推進します。	②	サイクルスポーツセンターの利用者数(人) (現状値) -人 → (目標値) 30,000人	67,790 人 (進捗率) 226.0%	135,976 人 (進捗率) 453.3%	160,001 人 (進捗率) 533.3%	◎	有	屋外施設利用について、新型コロナウイルス感染症の影響が少なく順調に推移した。通年運営により初年度より人数は増えている。引き続き宿泊の利用についても促進し、市外・県外からの誘客を促進する。	HPや各種SNS等で来客者数増加を目的とした魅力発信を行った。	商工観光課
22	3-5-2 観光資源の活用・造成	○市民や企業が主体となって実施する市外からの観光誘客を目的としたイベントを支援します。	②	なとり夏まつりの入込客数(人) (現状値) 20,000人 → (目標値) 35,000人	0 人 (進捗率) 133.3%	0 人 (進捗率) 133.3%	20,000 人 (進捗率) 0.0%	○	無	令和4年度は震災後12年ぶりに閑上地区において夏まつりを開催した(新型コロナウイルス感染症の影響により2年連続で夏まつりの開催を中止しており、夏まつりとしては3年ぶりの開催)。今年度も引き続き、閑上地区での開催に向けて実行委員会一丸となり準備を進め、入込客数の増加を図る。		商工観光課
23	3-5-5 広域観光の推進	○周辺地域との広域連携により、観光誘客の仕掛けづくりやPR、海外からの誘客等に取り組めます。	②	外国人宿泊者数(人) (現状値) -人 → (目標値) 1,500人	116 人 (進捗率) 7.7%	237 人 (進捗率) 15.8%	1,253 人 (進捗率) 83.5%	○	有	引き続き新型コロナウイルス感染症の影響はあるが、外国人旅行者への水際対策の緩和により外国人宿泊者が大幅に増加した。今後はアフターコロナを見据え、観光誘客に取り組む。	日本政府観光局が実施する訪日外国人旅行者向けの観光コンテンツ収集事業へ市内観光コンテンツの情報提供を行うなど国外向け情報発信に努めた。	商工観光課
24	5-4-3 移住・定住を促進するための居住地の確保	○地区計画の見直しなど、郊外型住宅団地の活性化を図るための施策について市民との協働により検討します。	①	住民との勉強会等の件数(件) (現状値) -件 → (目標値) 3件	10 件 (進捗率) 333.3%	9 件 (進捗率) 300.0%	5 件 (進捗率) 166.7%	◎	無	ゆりが丘地区まちづくり会議の組織づくりについて連合自治会を通じて組織づくりの検討及び会議の趣旨説明を行ってきた。令和5年度から新たな組織で会議を進めていきたい。		都市計画課

NO.	施策名	具体的な施策	数値目標項目	重要業績評価指標(KPI) 現状値: H29年度 / 目標値: 令和6年度	進捗状況 (KPIに対する実績値)			達成状況	新型コロナの影響の有無	令和4年度の取組内容及び今後の取組方針について	(新型コロナウイルスの影響がある場合) 指標とは異なる別の取組み状況等	担当課
					令和2年度	令和3年度	令和4年度					
25	5-4-4 空き家対策の推進	○空き地、空き店舗、空き家の利活用を促進します。	①	空き家の利活用数(戸)【累計】 <b>(現状値) -戸 → (目標値) 5戸</b>	0 (0) 戸 (進捗率) 0.0%	0 (0) 戸 (進捗率) 0.0%	1 (1) 戸 (進捗率) 20.0%	○	無	令和3年度「空家等対策協議会」設立と共に「空家等対策計画」を策定。令和4年度は「空き家バンク」や有効活用を促進するための補助金を創設し、起業支援タイプの活用が1件あった。令和5年度は、空き家バンクの登録物件数を増加させる取り組みとして、空き家所有者に対して、制度の周知を行い、更なる有効活用の促進を図る。		なとりの魅力創生課
26	6-1-1 なとりブランドの振興	○観光資源や地場産品が、なとりブランドとして全国的に評価されるものとなるよう、育成、PR、支援に取り組みます。	②	なとりブランド商品の開発件数(件)【累計】 <b>(現状値) 1件 → (目標値) 2件</b>	1 (0) 件 (進捗率) 0.0%	1 (0) 件 (進捗率) 0.0%	1 (0) 件 (進捗率) 0.0%	○	無	令和4年度は市内の魅力ある生産物の情報収集を行った。引き続き情報収集を行うとともに、委託事業の中で特産品の発掘や磨き上げを進める。		商工観光課
27	6-1-2 地域情報発信力の強化	○テレビ、雑誌、ウェブサイト、SNSなどのほか、新たな手段も取り入れながら効果的なプロモーション・情報発信を行います。	①・②	効果的な情報発信ツールの令和2年度以降の導入件数(件)【累計】 <b>(現状値) -件 → (目標値) 3件</b>	1 (1) 件 (進捗率) 33.3%	1 (0) 件 (進捗率) 33.3%	2 (1) 件 (進捗率) 66.7%	○	無	令和4年度は魅力発信に特化した公式Instagramのアカウントを開設。市内で開催されたイベントや風景などの投稿を行い、フォロワー数は549人となっている。令和5年度は様々な角度から情報を発信できる新たな発信媒体を制作し、発信していく。		なとりの魅力創生課
28	6-1-3 交流人口・関係人口の拡大	○ふるさと納税の寄附者等に対し、定期的な情報提供などつながりを持つことができる仕掛けづくりを検討します。	①・②	ふるさと納税寄附件数(件) <b>(現状値) 12,389件 → (目標値) 30,000件</b>	36,902 件 (進捗率) 139.2%	36,594 件 (進捗率) 137.4%	27,134 件 (進捗率) 83.7%	○	無	観光、移住・定住などにつながる名取市の魅力をPRしたパンフレット制作を行い、寄附者へ送付した。令和4年度にKPIが低下した原因は、これまで、本市の返礼品の主力であったビールについて、工場でのビールの製造が令和4年12月に終了し、また、寄附単価が高いカメラの在庫も年度途中に無くなったことから、寄附金額とともに寄附件数が減ったものと捉えている。令和5年度も、寄附者に対し本市の魅力を発信することで、本市への来訪者を増やすため、寄附金の使い道及び観光地等を紹介するパンフレットを作成し、送付する。		財政課
29	6-1-4 移住支援の充実	○移住支援金支給事業の実施等により、移住交流を促進します。	①	移住支援金支給世帯数(件)【累計】 <b>(現状値) -件 → (目標値) 5件</b>	0 (0) 件 (進捗率) -	0 (0) 件 (進捗率) -	3 (3) 件 (進捗率) 60.0%	○	無	令和4年度は移住支援金の対象範囲の拡大を図るため、自治体独自で設定できる関係人口要件として、市が参加する移住相談会等に相談した世帯を対象世帯にするため要綱を改正し、移住希望者の掘り起こしを行った。令和5年度は関係人口の要件に合致する世帯が複数確認できているため、移住促進に向け、プロモーションや単独の移住相談会を開催するなど、本市を選択いただける取り組みを進めていく。		なとりの魅力創生課
30	6-1-4 移住支援の充実	○奨学金を活用した若者の定住を促進します。	①	奨学金返還支援制度の導入 <b>(現状値) -件 → (目標値) 導入</b>	- (進捗率) -	- (進捗率) -	要綱整備済 (進捗率) -	○	無	令和4年度に若者の定住促進に繋がる施策を検討し、名取市若者定着奨学金返還支援事業補助金交付要綱の告示を行い、令和5年度から受付を開始する。		なとりの魅力創生課
31	6-1-5 なとりの魅力の発信	○市内の魅力を再発見するため、市民との協働により、なとり百選の後継となる地域資源の再発掘事業を進めます。	①・②	なとり百選の後継となる取り組みの実施 <b>(現状値) -件 → (目標値) 策定</b>	- (進捗率) -	委員会 2回開催 (進捗率) -	策定 (進捗率) 100.0%	◎	無	令和4年度は冊子発行に向け引き続き編集委員会において、冊子へ掲載する項目や写真の選定を行い、プロポーザル方式によりデザインから印刷までを一括で発注した。冊子のコンセプトとしては、市民の魅力を再発見とシブシックプライドの醸成で、「YAPPARI NATORI」というタイトルで令和5年3月に完成した。		なとりの魅力創生課

【基本目標③】

結婚・出産・子育ての希望をかなえる

(1)基本目標に対する数値目標

	(現状値: H29年度) (目標値: R6年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値	達成状況	担当課
		実績	実績	実績			
① 出生者数	718人 → 725人	563 (人) (進捗率) -2214.3%	610 (人) (進捗率) -1542.9%	503 (人) (進捗率) -3071.4%	725 (人)	▲	市民課
② 待機児童数	43人 → 0人	24 (人) (進捗率) 44.2%	9 (人) (進捗率) 79.1%	5 (人) (進捗率) 88.4%	0 (人)	○	こども支援課
③ 年少人口(15歳未満)	12,124人 → 13,200人	12,074 (人) (進捗率) -4.6%	11,861 (人) (進捗率) -24.4%	11,628 (人) (進捗率) -46.1%	13,200 (人)	▲	市民課

<各項目の実績値の表記について>

R4の欄に当該年度終了時点での実績値を記載。

※指標名が【累計】の場合...2段書きで記載

上段 : 当該年度までの延べ実績値(目標値が延べ実績値)

下段()書き: 当該年度(単年度)の実績値

【R4末時点の指標達成状況】◎・・・目標値達成 ○・・・現状値以上 ▲・・・現状値未満

(2)施策の基本的方向

- (ア) 妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない相談支援の充実を図り、養育のための知識普及や育児不安の解消に努めます。
- (イ) 仕事と子育ての両立を支援するため、保育ニーズの拡大に対応する提供体制の確保に努めるとともに、質の高い多様な保育サービスの充実を努めます。
- (ウ) 地域における多様な体験・交流活動や安心して過ごすことができる居場所づくりを推進するとともに、地域ぐるみで子育て家庭を支えるしくみの充実を図ります。
- (エ) 結婚を希望する方に対し、出会いの機会の創出と結婚相談に取り組みます。□

(3)具体的な施策・施策ごとの進捗状況

NO.	施策名	具体的な施策	数値目標項目	重要業績評価指標(KPI) 現状値: H29年度/目標値: 令和6年度	進捗状況 (KPIに対する実績値)			達成状況	新型コロナの影響の有無	令和4年度の取組内容及び今後の取組方針について	(新型コロナウイルスの影響がある場合) 指標とは異なる別の取組み状況等	担当課
					令和2年度	令和3年度	令和4年度					
32	2-1-5 母子保健事業の充実	○特定不妊治療費助成事業(男性不妊も含む)の周知強化に努めます。	①・③	不妊治療費助成数(人) (現状値) 47人 → (目標値) 53人	64 人 (進捗率) 283.3%	71 人 (進捗率) 400.0%	47 人 (進捗率) 0.0%	▲	無	令和4年4月1日から、有効性・安全性等の確認された不妊治療については保険診療となった。令和4年度は、特定不妊治療期間の初日が令和4年3月31日以前で、令和4年4月1日から令和5年3月31日までの間に治療を終了した場合についての助成(1回上限)のみとしたため、申請者数は減少した。令和4年度で事業終了となる。		保健センター
33	2-4-1 保育サービスの充実	○保育ニーズの把握に努め、定員拡大等による待機児童の解消と保育内容の充実を努めます。	②	認可保育施設の定員数(人) (現状値) 915人 → (目標値) 1,614人	1,594 人 (進捗率) 97.1%	1,594 人 (進捗率) 97.1%	1,627 人 (進捗率) 101.9%	◎	無	美田園わかば幼稚園がR4.4.1から閑上わかばこども園に移行し、33名増の1,627名となった。令和4年度中には、認定こども園の教育枠を保育枠に振替、79名の増を図った。 未就学児童数が減少する一方、女性就業率の上昇に伴い、申込率は増加を続けていることから、今後も推移を見極め、追加策を講じるかを検討する。		こども支援課
34	2-4-1 保育サービスの充実	○短時間就労などの様々な就労形態や生活状況に対応できる保育サービスの充実を図ります。	①・③	一時預かり実施施設数(施設)【累計】 (現状値) 4施設 → (目標値) 5施設	4 (0) 施設 (進捗率) 0.0%	3 (△1) 施設 (進捗率) -100.0%	3 (0) 施設 (進捗率) -100.0%	▲	無	令和3年度以降、愛の杜めぐみ保育園が、人員不足により、一時休止中となっており、1施設減となっている。 新規実施には、専用の部屋が必要であることから、建替え等を行う事業者が発生した場合には、働きかけを行っていく。		こども支援課
35	2-4-2 相談支援体制の充実	○産後うつ等の予防のため、産婦に対する支援の充実を図ります。	①・③	育児ヘルプサービス事業によるホームヘルパー派遣件数(件) (現状値) 445件 → (目標値) 600件	310 件 (進捗率) -87.1%	370 件 (進捗率) -48.4%	233 件 (進捗率) -136.8%	▲	無	令和4年度は前年度よりも申請数が減少した。新型コロナウイルス感染症による環境変化(県外への移動制限解除、在宅ワーク等)や父親の育児休暇取得の増加等が考えられるが、今後も育児協力が得られず支援が必要な産婦に、必要な時期にサービスが導入できるよう努めていく。		保健センター
36	2-4-2 相談支援体制の充実	○子ども家庭総合支援拠点の整備や子育てコーディネーターの活用等により、子どもやその家庭、育児に不安や困難を抱える保護者等を把握し、適切な支援につなげます。	①・③	子ども家庭総合支援拠点事業の実施 (現状値) - → (目標値) 実施	- (進捗率) -	実施 (進捗率) 100%	実施 (進捗率) 100.0%	◎	無	こども支援課事務局が庁舎北側に移転後(R3.10)に、子ども家庭総合支援拠点事業を開始した。児童家庭相談システムを構築し、令和4年2月からシステムを利用し、相談業務の効率化を図っている。令和4年度より関係機関との連携を深め情報共有する拠点事業連絡会議を四半期に1回行っている。		こども支援課
37	2-4-3 子育て支援情報の発信	○イベント開催や子育て情報専用サイト等、様々な機会や媒体を通じて子育て支援にかかるわかりやすい情報発信の強化に努めます。	①・③	「e-なとりっこ」アクセス数(件) (現状値) 65,520件 → (目標値) 72,000件	120,576 件 (進捗率) 849.6%	120,761 件 (進捗率) 852.5%	92,840 件 (進捗率) 421.6%	◎	無	令和3年度のアクセス数120,761件と比較すると27,921件の減となっている。市民ニーズに合わせた情報の鮮度・情報の見やすさなど、より充実した内容となるよう努める。		こども支援課

NO.	施策名	具体的な施策	数値目標項目	重要業績評価指標(KPI) 現状値:H29年度/目標値:令和6年度	進捗状況 (KPIに対する実績値)			達成状況	新型コロナの影響の有無	令和4年度の取組内容及び今後の取組方針について	(新型コロナウイルスの影響がある場合) 指標とは異なる別の取組み状況等	担当課
					令和2年度	令和3年度	令和4年度					
38	2-4-4 地域ぐるみの子育て支援の推進	○子育て家庭同士が交流したり、情報交換できる場の充実やサークル活動の活性化を図ります。	①・③	子育て支援拠点の利用者数(人) <b>(現状値) 18,921人 → (目標値) 21,985人</b>	20,955 人 (進捗率) 66.4%	21,105 人 (進捗率) 71.3%	<b>23,835</b> 人 (進捗率) <b>160.4%</b>	◎	有	令和3年度の施設利用者数21,105人と比較すると2,730人の増となっている。通常利用は回復しつつあるが、新型コロナウイルス感染症対策を講じてのイベント開催を企画しても、多数が参加するイベントは敬遠される傾向にある。	通常利用やイベント開催時における新型コロナウイルス感染拡大防止対策の徹底を図りながら、利用者が楽しめよう努めた。	こども支援課
39	2-4-5 子どもの居場所の充実	○子どもたちが安心して健全に遊んだり、世代を超えて交流できる場所の充実に努めます。	③	児童センターの施設利用者数(人) <b>(現状値) 265,940人 → (目標値) 324,000人</b>	230,661 人 (進捗率) -60.8%	207,304 人 (進捗率) -101.0%	<b>247,295</b> 人 (進捗率) <b>-32.1%</b>	▲	有	令和3年度の施設利用者数207,304人と比較すると39,991人の増となっている。昨年度のような長期にわたる利用制限(R3年4～5月・8～9月・3月)等がなかったことやwithコロナへの意識の転換で活動の再開や制限の緩和等が行われたことが増加の要因と思われる。	通常利用やイベント開催時における新型コロナウイルス感染拡大防止対策の徹底を図りながら、利用者が楽しめよう努めた。	こども支援課
40	2-4-6 次代の親の育成支援	○保育所、幼稚園、児童センターなどにおいて、中高生が乳幼児や小学生とふれあう機会を拡充します。	③	保育所で職場体験の受入をした中学生の人数(人) <b>(現状値) 150人 → (目標値) 150人</b>	0 人 (進捗率) 0.0%	0 人 (進捗率) 0.0%	<b>0</b> 人 (進捗率) <b>0.0%</b>	▲	有	令和4年度も新型コロナウイルス感染症の影響により中学校からの依頼はなく、受入実績はなかった。令和5年度は、5類移行に伴い各中学校からの依頼も想定されるため、受入可能な環境維持に努める。	依頼があったときを想定して、感染症対策を講じた受入体制づくりに努めた。	こども支援課
41	2-5-3 地域における居場所づくり	○就労などで放課後等に保護者が不在となる家庭の子どもや、困難や生きづらさを抱えている子どもたちが、安心して自分らしく過ごすことができる居場所の充実に努めます。	③	放課後児童クラブ登録人数(人) <b>(現状値) 793人 → (目標値) 1,057人</b>	952 人 (進捗率) 60.2%	1,006 人 (進捗率) 80.7%	<b>1,102</b> 人 (進捗率) <b>117.0%</b>	◎	有	令和3年度の登録人数1,006人と比較すると96人の増となっている。放課後児童クラブは利用ニーズが増えており、安全に過ごせる場所の確保として、利用者の安全と安心を確保するため施設の修繕や改修等に努めている。	通常利用やイベント開催時における新型コロナウイルス感染拡大防止対策の徹底を図りながら、利用者が楽しめよう努めた。	こども支援課
42	6-1-5 なとりの魅力の発信	○結婚を希望する方々に対し、出会いの機会の創出を図るとともに、結婚についての悩みに対する相談に取り組みます。	①・③	婚活イベント参加者数(人) <b>(現状値) 188人 → (目標値) 200人</b>	0 人 (進捗率) -1566.7%	0 人 (進捗率) -1566.7%	<b>0</b> 人 (進捗率) <b>-1566.7%</b>	▲	有	令和4年度においてもコロナ禍の影響により開催を見送っている。令和5年度においては感染症の状況及び社会情勢を考慮しつつ主催者と今後の方向性について検討する。	婚活イベントについては、民間事業者が主催しているケースが多いため、コロナ禍での取組みやアフターコロナを見据えた取組みなどを注視している。	なとりの魅力創生課

【基本目標④】

ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

(1) 基本目標に対する数値目標

		R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	目標値	達成状況
① 名取市に住み続けたいと思う市民の割合	(現状値: H29年度) → (目標値: R6年度) <b>79.1%</b> → <b>84.1%</b>	- (%)	- (%)	- (%)	84.1 (%)	—
	(進捗率) —	(進捗率) —	(進捗率) —			
② 美しい景観づくりに関する市民の満足度	(現状値: H29年度) → (目標値: R6年度) <b>26.9%</b> → <b>31.9%</b>	- (%)	- (%)	- (%)	31.9 (%)	—
	(進捗率) —	(進捗率) —	(進捗率) —			

<各項目の実績値の表記について>  
**R4の欄に当該年度終了時点での実績値を記載。**  
 ※指標名が【累計】の場合...2段書きで記載  
 上段 : 当該年度までの延べ実績値(目標値が延べ実績値)  
 下段()書き: 当該年度(単年度)の実績値

【R4末時点指標達成状況】◎・目標値達成 ○・現状値以上 ▲・現状値未満

(2) 施策の基本的方向

- (ア) 市民一人ひとりが様々な災害・危機を想定しつつ、それぞれの置かれた状況に応じて対策・準備を行うための支援を行います。
- (イ) 関係機関や近隣市町と連携し、医療体制の確保及び救急医療体制の強化に努めます。
- (ウ) 生涯にわたって主体的な学習活動を支援するため、市民ニーズに応じた学習機会の充実を図るとともに、学習成果を発表する場の充実や学習で得た知識・技術を地域に還元する場の創出に努めます。
- (エ) 市民が安全に安心してスポーツができる施設・設備の計画的な整備と、指導者の確保に努めます。
- (オ) 市民が自然に触れることのできる場の整備や機会の充実を図るとともに、環境教育やレクリエーション活動等への活用を図ります。
- (カ) 安全な道路環境の維持管理と利便性の高い幹線道路の整備、仙台空港周辺の土地利用を促進するとともに、ニーズに対応した公共交通体系の構築に努めます。
- (キ) 多様な主体がまちづくりの方向性や地域課題を共有するため、様々な機会や媒体を通じてわかりやすい形で情報発信するとともに、市民の意見をまちづくりに反映するための機会の充実を図ります。

(3) 具体的な施策・施策ごとの進捗状況

NO.	施策名	具体的な施策	数値目標項目	重要業績評価指標(KPI) 現状値: H29年度 / 目標値: 令和6年度	進捗状況 (KPIに対する実績値)			達成状況	新型コロナの影響の有無	令和4年度の実績内容及び今後の取組方針について	(新型コロナウイルスの影響がある場合) 指標とは異なる別の取組み状況等	担当課
					令和2年度	令和3年度	令和4年度					
43	1-1-2 自主防災組織の強化	○地域防災の要となる自主防災組織の組織化を支援するとともに、自主防災組織の防災訓練への参加等により、組織力の維持・強化を促進します。	①	自主防災組織組織率(%) <b>(現状値) 78% → (目標値) 84%</b>	79.1 %	80.3 %	<b>81.6</b> %	○	無	前年度から継続支援していた地区について、確実な設立につなげた。今後、未組織化地区への声掛けを行い、組織率向上につなげる。		防災安全課
					(進捗率) 18.3%	(進捗率) 38.3%	(進捗率) <b>60.0%</b>					
44	1-1-3 避難支援体制の強化	○市民に的確な災害情報を迅速に伝え、災害の被害拡大を防止するため、Jアラート及びJアラート連動システム並びに防災行政無線の整備、防災ラジオの普及、コミュニティFMの活用等、情報提供環境の整備を推進します。	①	防災ラジオ普及台数(台)【累計】 <b>(現状値) 4,695台 → (目標値) 6,090台</b>	5,441 (183) 台	5,603 (164) 台	<b>5,669</b> <b>(66)</b> 台	○	無	令和4年度においても市HP、市広報への記事の掲載等により、より幅広く配布周知を行った。今後も継続して配布周知に努め、防災ラジオの普及促進を図る。		防災安全課
					(進捗率) 53.5%	(進捗率) 65.1%	(進捗率) <b>69.8%</b>					
45	1-3-2 救急救命体制の充実	○救急救命士の養成等により増強を図るとともに、救急隊員教育を充実させ、救急隊員の資質・技術と救命率の向上に努めます。	①	救急隊の現場到着までの平均時間(分) <b>(現状値) 8.6分 → (目標値) 8.2分</b>	9 分	9.2 分	<b>9.8</b> 分	▲	有	コロナ禍における感染防止の徹底及びコロナ感染者の搬送(移送)業務において、消防隊員の感染予防対策は必須であることから、これまで救急業務用感染防止衣や感染者専用の人工呼吸用膨張式マスクを救急車に配備してきた。令和4年度においても、感染予防対策強化を図るため感染防止衣のオゾン・紫外線殺菌庫や救急車内陸圧シールドを整備した。		消防本部
					(進捗率) -100.0%	(進捗率) -150.0%	(進捗率) <b>-300.0%</b>					
46	2-2-1 地域医療体制の強化	○県、関係機関と連携し、医療従事者の確保に向けた取り組みを促進します。	①	市内医療施設(病院・診療所)数(施設)【累計】 <b>(現状値) 51施設 → (目標値) 52施設</b>	52 (3) 施設	55 (3) 施設	<b>56</b> <b>(1)</b> 施設	◎	無	在宅診療医療機関が開院した。今後も関係機関と情報共有に努める。		保健センター
					(進捗率) 100.0%	(進捗率) 400.0%	(進捗率) <b>500.0%</b>					
47	4-4-3 学びの成果を生かす仕組みの確立	○地域学校協働活動やマナビ講師派遣事業等、市民が学習した成果を発表する場の提供を支援します。	①	マナビ市民講師の派遣回数(回) <b>(現状値) 156回 → (目標値) 200回</b>	82 回	162 回	<b>199</b> 回	○	有	令和2年度の実施回数がコロナ禍の影響により大幅に減少したことを受け、令和3年度、マナビ講師派遣事業のPR冊子を刷新し、「マナビガイドブック」を発行。令和4年度も様々な機会に積極的な冊子配布等のPRにより、広く市民に周知を実施した。引き続き、「マナビガイドブック」及び「マナビ通信」の発行により、事業のPR拡大に取り組む。	減少した実績を回復する手段として、「マナビ通信」の発行を毎月1回継続中。登録講師の魅力を紙面で伝えることにより、講座依頼への実績づくりに繋がっている。	生涯学習課
					(進捗率) -168.2%	(進捗率) 13.6%	(進捗率) <b>97.7%</b>					
48	4-5-2 スポーツ施設の整備充実	○屋内・屋外体育施設の整備を図り、市民にとって利用しやすい施設環境の維持に努めます。	①	体育施設利用者数(人) <b>(現状値) 416,557人 → (目標値) 440,000人</b>	260,707 人	344,562 人	<b>422,909</b> 人	○	有	令和4年度の体育施設利用者数は422,909名で、増田体育館でのワクチン接種利用者数33,421名を含めているが、実質的な利用者数は3年度より増加している。国や県が示すガイドラインを遵守し、感染拡大防止に努めるとともに、多くの市民がスポーツに触れることができるよう環境整備を推進する。	スポーツの活動において、手指の消毒や手洗いの徹底、施設内入口の検温器の設置、スポーツ用具やドアップの消毒、室内の換気を行い、接触を減らすことを徹底し、新型コロナウイルス感染症の感染予防・感染拡大防止に努めた。	文化・スポーツ課
					(進捗率) -664.8%	(進捗率) -307.1%	(進捗率) <b>27.1%</b>					

NO.	施策名	具体的な施策	数値目標項目	重要業績評価指標(KPI) 現状値:H29年度/目標値:令和6年度	進捗状況 (KPIに対する実績値)			達成状況	新型コロナの影響の有無	令和4年度の取組内容及び今後の取組方針について	(新型コロナウイルスの影響がある場合) 指標とは異なる別の取組み状況等	担当課
					令和2年度	令和3年度	令和4年度					
49	5-1-2 自然とふれあえる場と 機会の提供	○魅力ある自然散策路や海岸散策路の整備に向け、五社山までの直登ルート、樽水ダムから五社山へのルート、増田川沿いのルート整備を検討します。	①・②	整備状況 <b>(現状値) 未整備 → (目標値) 整備着手</b>	未整備 (進捗率) —	【直登ルート】 整備着手 (工事期間延長によりR4に繰越) (進捗率) —	【直登ルート】 <b>工事完了</b> (進捗率) <b>100.0%</b>	◎	無	直登ルートは令和3年度に工事着手、工期延長により令和4年5月に完了し、通行可能となった。増田川沿いのルートについては、私道が含まれており、土地の所有者からは整備等が不要であれば通行可と承諾を得ている。樽水ダムから五社山へのルートについては、地権者である地元契約会に相談し、意見聴取を行った。		クリーン対策課
50	5-3-1 緑化の推進と環境美 化の促進	○市道等における街路樹の整備や法面の緑化など、市街地における花と緑の環境づくりを推進します。	①	公園・緑地の整備に関する市民の満足度(%) <b>(現状値) 34.2% → (目標値) 35.0%</b>	第六次長期総合計画の中間で予定する市民意識調査で確認することとしている。			—	無	公園施設及び緑地利用者の安心・安全な環境を保持するため、地区毎に必要な日常的な保全管理を行っており、市民の満足度が向上するよう継続して取り組む。		都市計画課
51	5-5-1 安全・安心な道路整備 の推進	○狭隘道路や未舗装道路など、市民生活に密着した生活道路の改良を計画的に推進します。	①	市道改良率(%) <b>(現状値) 81.0% → (目標値) 85.2%</b>	82.02 (進捗率) 24.3%	83.30 (進捗率) 54.8%	<b>83.50</b> (進捗率) <b>59.5%</b>	○	無	令和4年度は、飯塚成田線などの継続事業等により、改良率は前年度末に対し0.2%上昇した。引き続き、現在事業中路線の早期完成を図る。		土木課
52	5-5-1 安全・安心な道路整備 の推進	○安全・安心な歩行空間の確保ができるよう、歩道の拡幅とバリアフリー化の推進に努めます。	①	歩道のバリアフリー整備延長(m)【累計】 <b>(現状値) 3,800m → (目標値) 4,740m</b>	4,361 (71) (進捗率) 59.7%	4,410 (49) (進捗率) 64.9%	<b>4,410</b> <b>(0)</b> (進捗率) <b>64.9%</b>	○	無	令和4年度については、令和3年度で当該工区の歩道整備が完了し、車道舗装のみの実施であったため、バリアフリー整備延長の進捗はなかった。令和5年度も当該工区の車道舗装を実施し、令和6年度より、次の工区に移行し、バリアフリー化を進める。		土木課
53	5-5-4 利便性の高い公共交 通の構築	○乗合バス「なとりん号」について、乗車実績や市民ニーズを調査・分析しながら、利便性の高いバス体系等の構築に努めるとともに、利用促進に向けた啓発に努めます。	①	市が主体となって実施する公共交通(なとりん号)の利用者数(人) <b>(現状値)401,649人 → (目標値)497,000人</b>	376,816 (進捗率) -26.0%	405,127 (進捗率) 3.6%	<b>437,119</b> (進捗率) <b>37.2%</b>	○	有	令和4年度はまん延防止等重点措置の解除やワクチン接種の拡大により、令和3年度よりは利用者数が回復したものの、令和元年度の水準までは回復していない。令和5年度の10月以降の新たな公共交通への検討を行なった。	通常利用やイベント開催時における新型コロナウイルス感染症対策の徹底を行いながら、利用者が安心して利用できるよう努めている。	防災安全課
54	5-6-2 周辺施設等の整備促 進	○仙台空港周辺の防災集団移転元地の活用に向け、土地利用の可能性と利用促進を検討します。	①	防災集団移転元地土地利用検討プランの策定 <b>(現状値) - → (目標値) 策定</b>	着手済み (進捗率) —	策定中 (進捗率) —	<b>策定中</b> (進捗率) —	▲	有	北釜地区防集事業跡地の利活用に係る公募にて応募のあった優先協議者3社と協議を行い、先行エリア進出希望の仙建工業㈱へR4.1月に土地引き渡し完了。自社研修センター建設に向けて市と協議を行い、R5.3.29第1期工事分の建築確認申請(R5.5月工事着工予定)。後発エリア進出希望の2社については、R4.12月に協議期間を延長し、継続して協議する。	左記のとおり、北釜地区の後発エリアに進出希望の2社との協議については、新型コロナウイルスの影響により、交渉期限を延長して引き続き協議することとなった。	都市開発課
55	5-8-2 親水空間の整備	○親水空間としての機能向上を目指し、国と連携したかわまちづくりを推進します。	①・②	関上地区で進めている「かわまちづくり事業」の実施件数(件)【累計】 <b>(現状値) 1件 → (目標値) 2件</b>	1 (0) (進捗率) 50.0%	1 (0) (進捗率) 50.0%	<b>2</b> <b>(1)</b> (進捗率) <b>100.0%</b>	◎	無	令和4年度末に国による親水エリア(広場、階段護岸等)・多目的広場の護岸整備が完了した。		商工観光課
56	6-1-5 なとりの魅力の発信	○関係団体と連携しながら、子どもたちが自然の中で自由に遊べる冒険遊び場づくり事業を支援するなど、地域への愛着を育むことで将来を担う人材の育成を図ります。	①	冒険遊び場事業の実施件数(件) <b>(現状値) 1件 → (目標値) 1件</b>	0 (進捗率) —	2 (進捗率) 200.0%	<b>2</b> (進捗率) <b>200.0%</b>	◎	無	令和4年度は2団体が6日間、3箇所で開催。令和5年度も引き続き2団体で実施する予定だが、学生ボランティアの募集など、冒険遊び場の考え方を多くの学生に周知できる取り組みを新たに行う予定。		なとりの魅力創生課
57	6-2-1 協働の意識づくり	○「自分たちのまちは自分たちでつくる」を主眼とし、将来を担う小中高生が提案、実施する自主的な活動を支援することもファンド事業を通して、多くの子ども達がまちづくり活動に携わることで、まちづくりの楽しさ、大切さを学び将来の活動へつなげていきます。	①	こどもファンド事業提案数(件) <b>(現状値) 1件 → (目標値) 13件</b>	11 (進捗率) 84.6%	10 (進捗率) 76.9%	<b>10</b> (進捗率) <b>76.9%</b>	○	無	10団体の提案に対し、採択されたのは10団体だった。今後も事業の周知を行い、より多くの子どもたちがまちづくりの楽しさ、大切さを学べるよう、令和5年度予算を目標値の13件分として取り組む。		市民協働課
58	6-2-3 市民活動の促進	○「名取市市民活動促進指針」にもとづき自主的かつ積極的な市民活動を促進します。	①	市民活動団体数(団体)【累計】 <b>(現状値) 103団体 → (目標値) 110団体</b>	113 (2) (進捗率) 142.9%	112 (△1) (進捗率) 128.6%	<b>113</b> <b>(1)</b> (進捗率) <b>142.9%</b>	◎	無	令和4年度の新規団体登録は1団体(NPO法人1)となっているため、前年度と比較して1団体の増。		市民協働課